



石狩市公立小中学校事務職員学校間連携会議

第105回(今年度第1回) 2020年6月11日(木)14:00～ 於:市庁舎201会議室



1 議長挨拶

2 経過報告

4月17日(金)研修会①(中止)

3 2020年度役員体制の確認

議長 村井 誠 (石狩中)

事務局長 高松 健輔 (花川中)

次長 小板橋 悟 (花川南小)

研究グループ代表 三浦 然愛 (樽川中)

調査研修グループ代表 幕田 芳恵 (花川北中)

予算要望グループ代表 中川 雄二 (厚田学園)

※上記の他石狩市公立小中学校事務職員協議会三役(会長・事務局長・事務局次長)をもって役員会を構成します。

4 学校間連携のとりくみを始める前に…

石狩市ではじめて勤務する人は、ご確認ください。

すでに石狩市で勤務している人も、今一度確認しましょう！

石狩市の協議会と連携会議の関係について、協議会の事務局は研修と親睦を中心に対外の折衝を中心とした事務局運営を進めていく事とし、連携会議の事務局は、学校事務業務推進のための共通理解と実践の場としての連携会議を各部の部長や部員と共に運営して行くことを念頭に置いて進めていきます。このことを踏まえ、今年度も例年同様に協議会の事務局と協力体制を確立し、連携会議を運営します。

5 2020年度の具体的取り組みについて <別紙1>

6 協議題1 <別紙2>

令和2年度各グループの活動計画について

5月の会議を行えなかったため、各グループでそれぞれ年間活動計画について協議してもらっています。本日の会議で発表し全体で確認します。

7 協議題2 <別紙3>

「令和3年度 石狩市教育予算要望書」に向けた具体的作業について
(提案 予算要望G担当)

8 市内基礎データ集約について <別紙 エクセル様式>

9 実践交流

10連絡事項

(1) 会議日程等の連絡方法について

①連携会議に関する連絡・資料提出等は原則として電子メールを利用します。

※会議案内や議案は学校アドレス宛てに送信します。

②連携会議の公式メールアドレスは、hanachu@educet.plala.or.jp (花川中学校アドレス) とします。提出物等はこのアドレスにお願いします。

(2) ホームページの活用について

①会議案内や会議資料については、後日連携会議ホームページに掲載するので、いつでも確認することができます。ホームページアドレスは<http://irenkei.sub.jp> です。

②ホームページの中の「会員のページ」に入るにはパスワードが必要です。

③ホームページには掲示板も設置しています。

(3) 日刊連携会議の活用について

連携会議の振り返りや事務職員にかかわる教育情勢等を広く伝えられるよう、広報誌として『日刊連携会議』を作成し、情報の発信を行っていきます。

<別紙Ⅰ> 2020年度の具体的とりくみについて

今年度から事務局が新しくなりましたが、昨年度と同様に石狩市の学校間連携会議では『石狩市の子どもたちのために、できることからはじめよう』を合言葉にしていきたいと考えます。

その柱として、①子どもの学ぶ権利の保障、②生活の場としての学校づくり、③市内各校事務職員が連携して取り組む（学校事務の確立のため）、の3点を掲げ、活動を推進していくこととします。そのため、今年度も以下の通り具体的なとりくみを行っていきます。

(1) 学校財政と学校事務の状況調査

①財政財務活動の具体的展開の交流

実践交流等を活用して、各学校の予算編成・執行状況・決算書の交流による財政財務活動の具体的展開、それに伴う保護者負担の公費化（軽減）に向けた取り組み状況の交流を行います。

※PFシートについては、全体で調査・交流は行わない予定です。各学校で過去のデータと比較するなど、有効に活用してください。

②学校事務業務実態調査

昨年度行った、事務職員の仕事調査について交流を行います。

③その他の調査

メンバーの要請や新たな課題の発生など、必要に応じて種々の調査を実施します。

(2) 提言について

これまでの調査活動や実践交流等で明らかになった課題から、重要な課題や私たちの取り組みを集中する必要がある事項について「提言」を行います。

(3) 予算要望について

石教振事務部会の委託により、予算要望資料作成を行います。資料内容の検討は予算要望グループ会議の議論を経て、連携事務局として具体的作業を提起します。

基本的には、全道・石狩事務職員協議会の基本方針である子どもの教育権（学習権）保障の観点を重視し、保護者負担の軽減・公費化につながる予算要望となるよう留意します。

(4) 実践交流について

今年度も学校財政財務活動の実践として、各学校の予算編成を中心に交流します。

学校内での取り組み状況を可能な限り交流するとともに、資料化を検討します。

(5) その他

申し合わせ事項として、市事協・連携会議の双方はお互いの活動や取り組みをそれぞれの活動や取り組みとして発表・報告することを可とします。

<別紙2> 令和2年度各グループの活動計画について

令和2年度 研究G活動計画（案）

1 構成員

構成	氏名	所属	備考
部長	三浦 然愛	樽川中学校	研究推進委員
	細川 貴史	浜益小学校	
	鎌田 晃	緑苑台小学校	
	斎藤 大輔	花川南中学校	
	神尾 萌	花川南小学校	
	高松 健輔	花川中学校	

2 今年度研究課題

3 活動方針・計画

4 重点課題

5 石教研第二次研究協議会に向けて（中止の連絡が6/2にありました。）

6 年間活動計画日程

※ 6/16の第2回推進委員研修会・合同研修会にて石事協の研究主題が提示されるため、現時点では計画案をお示しすることができません。

会議後、活動計画を作成し、みなさんにはメール等でお知らせしたいと考えています。ご了承いただけますでしょうか。

※ 全道事務研が来年に延期になりました。

しかし、発表は石狩市がすることになっていますので、レポートの作成と発表者、司会者は今年度中に決めておくことが必要です。今後、話し合いを持ちますので、その際はよろしく願います。

令和2年度 予算要望G活動計画（案）

○構成員

中川（厚田学園） 村井（石狩中） 高嶋（花川小） 佐藤（花川小） 沼田（双葉小）
小野（南線小） 後藤（浜益中）

1. 活動方針

(1) 教育施設・設備と教育費の保護者負担軽減を求め、諸活動を推進する。

(2) より確かな予算要望資料作成のため、日常実践を通して資料の収集と分析を行い、説得力のある要望書づくりと予算獲得に努める。

(3) 予算要望活動を学校間連携のとりくみとして推進する。

2. 活動計画

- (1) 予算要望書の効率的及び効果的な資料作成のための企画立案
- (2) 要望資料作成にあたり、成果や課題を踏まえ、各校の実態交流を通して、より説得力のある資料づくりを進める。
- (3) 学校間連携による(実態)の調査により、年間を通した活動を推進する。
- (4) 予算要望書作成に関わる事務職員部会としての資料作り…これが一番大事な活動です。**

すぐには成果が出なくても、継続することで実現している項目もたくさんあります。

また一層の改善のために今後も継続や、新たな課題についても調査を行い、働きかけていくことも大事なことです。今年度は継続項目も含め以下のとおり調査・資料作りを進めていきます。

① 市経理消耗品費配分額における印刷関連経費の割合

各学校では、定額制プリンタの導入や用紙のコスト削減など、印刷費を抑える努力を行っています。

しかしながら、以前厳しい状況にあることを理解してもらう必要があります。現在は学校配分予算の配分調整を行うことができるようになっていますが、このことは、根本的な解決(予算の増額)にはなっていないと考えるため、継続します。

② 保護者負担公費化のための要望(各教科実験材料費負担調査)

実際保護者がどれだけ私費負担をしているか把握できる資料のため、継続して調査を行い要望書に盛り込みます。昨年度より小学校の「鍵盤ハーモニカ」「習字セット」などの「幹旋教材」も調査を行っています。昨年度の反省から項目や教科ごとの総額を載せた方がいいとの意見をいただきましたので、まとめる際に検討したいと思います。また昨年度研究部で実施した「公費化されている教材・消耗品の調査」とのリンクについても予算要望部において検討します。

③ スキー学習バス代保護者負担調査

近年のバス代高騰により保護者負担が増加していることから、平成28年より調査を行い、要望書に盛り込んでいます。

その結果、小学校への補助額増、中学校実施校への補助など成果のでている項目です。

この項目もさらに改善がはかれるよう、継続して調査を行う必要があります。

今年度はリフト代の調査も行い、予算措置につなげていきたいと思っています。

④ 中学校吹奏楽に関わる経費

この要望も継続して取り組んできた結果、継続した予算配分がなされるようになりました。

この配分が継続され、さらに、現有額 10%の修繕費が配分されるよう、引き続き調査を行い、要望する必要があります。また、樽川中石狩太鼓部についても予算配分されるよう継続します。

⑤ 学校図書館整備に係る消耗品などの必要経費調査

継続して取り組んできた結果、小学校への司書配置に始まり必要経費の予算配分、昨年度から中学校の巡回という形で司書の配置や、必要経費の予算配分など成果のみられる項目のひとつです。

しかし、さらなる改善をはかるため、今後も継続して調査を行う必要があります。

⑥ 小学校英語教科化に伴う経費

今年度より小学校3・4年生で外国語活動、5・6年生では教科として外国語(英語)が実施されています。昨年に引き続きその必要経費(消耗品費や教材備品費など)の実態を把握し、資料化することで予算措置を働きかけていきます。

⑦ 学習指導要領全面改訂に伴う教科書採択に関わる必要経費調査

小学校では今年度改訂を受けてデジタル教科書の導入がなされました。中学校では令和3年度に学習指導要領の全面改訂に伴う教科書採択に関わり、必要経費の実態を把握し、消耗品費の増額のみでは購入することが難しい、必要な物品・備品の購入・整備ができるよう要望します。

⑧ 児童生徒一人当たりの配分予算の推移

今年度予算で、増税分の消耗品費が増額されました。しかし、この調査の本来の目的は、保護者の私費負担軽減のための学校予算のさらなる増額です。ここ数年の全体、及び小学校・中学校の単価の推移を把握することにより、要望の資料とします。

【確認】事務職員部会としての重点要望(7・8・9・10)について

第1回予算要望部会で確認したものをメールにて全会員に配布、確認してもらっています。この場でこれでよいか確認します。

よしとなれば、第1回予算要望委員会へ提出します。その場で各団体から出てくる重点要望とともに確認します。

3. 年間活動計画(予算要望委員会に関わっても記載しています。)

5月29日(第1回予算要望部会、紙面) ㊦ 各調査内容等の確認・検討・日程の確認

6月11日(第115回連携会議) 本日 重点要望、調査の具体的な内容の決定

6月15日~6月30日 調査期間(各校にデータ配布、各校で調査、記入し厚田学園中川へ)

6月30日 第1回予算要望委員会 ~ 中止

7月1日~7月10日 調査結果集約・要望の趣旨の内容の検討(予算要望グループ各担当者)

7月13日~7月17日 予算要望書内容検討(予算要望グループ内)

7月20日~7月22日 予算要望内容(案)完成作業

7月27日~7月29日 連携会議・協議会事務局との確認

7月29日以降 予算要望内容(案)全会員へメールで送付

8月上旬?夏季研修会 予算要望書内容(案)検討

8月21日? 学校ランキング表提出メ切(営繕、高額備品関係)

8月31日(第4回研修会) 予算要望書最終確認

9月上旬 予算要望書資料予算要望委員会へ提出

9月中旬 第2回予算要望委員会

9月下旬~10月上旬 各学校施設・設備調査(市教委)

10月中旬 各団体からの要望提出(市教委)

10月下旬~11月中旬 各団体からの要望の調整(市教委)

11月下旬 教育予算要望書提出(予算要望委員会事務局)

12月上旬	「令和3年度石狩市教育予算要望書」の各学校配布
令和3年2月19日	第120回連携会議 年度反省検討
令和3年2月下旬	第3回予算要望委員会(予算要望書の回答)
令和3年3月下旬	予算要望書の回答の各学校配布

令和2年度 調査研修G活動計画(案)

1 所属メンバー

- ★就学援助担当:
- ★備品関係担当:
- ★視察研修・出前講座担当:

2 活動方針

- (1)業務の効率・迅速・正確・簡素化を図るため、学校事務の実態調査を行い、改善方法について検討・提案する。
- (2)研究課題の解決や研鑽を深めるため、視察研修を企画・推進する。

3 活動計画

(1)学校事務の改善について

- ①事務職員が関わっている業務について、調査・資料化をする。
- ②備品台帳の維持管理、その他備品関係等にかかわって教育委員会との調整を行い、検討・改善を図る。
- ③就学援助事務の手引きに改善の必要がある場合は、改善に向けて検討を図り、教育委員会との調整を行う。また、変更が生じた場合は、手引きの変更を行う。
- ④上記作業等については、協議会、連携会議事務局と十分に連携を取り、学校間連携会議HPの手引のページについて様式の掲載等の充実を図る。

(2)視察研修等について

- ①他支部交流、出前講座については、調査研修グループで内容を検討し提案する。
実施後、報告を行い会員に研修成果の還元に努める。

<別紙3> 「令和3年度 石狩市教育予算要望書」作成に向けた具体的作業について

1. 予算要望委員会に対しての事務職員部会としての取り組みの確認

「予算要望委員会としての重点要望(共通要望)事項」のうち、「事務職員部会としての重点要望」(それぞれ別紙参照)について、予算要望グループ内での検討を行いました。別紙にてご意見を願います。

それを受けて、今後の予算要望委員会に対しての取り組みを進めていきます。

2. 事務職員部会としての要望に係る資料作り

第1回予算要望部会にて具体的取り組み内容を作成しました。

ご確認をお願いします。

(1) 予算要望書作成に向けた作業日程について

第1回予算要望部会(調査内容の審議)	メールにて確認 [㊟]
具体的調査内容の確認・決定	6月11日 本日
調査期間(各校にて)	6月15日～6月30日
(第1回予算要望員会)	6月30日 中止)
調査結果集約(予算要望グループ内)	7月1日～7月10日
予算要望書内容検討(全会員で)	夏季研修会
(「学校ランキング表」提出)	8月21日?)
提出資料の最終確認	8月31日(第4回研修会)
予算要望委員会への提出	9月上旬
(第2回予算要望委員会)	9月中旬)

(2) 具体的調査内容と提出について

データをエクセルのブックにて配布します。そちらに入力し、6月30日(火)までに厚田学園 中川へメールにて送信してください。(調査用紙のデータは明日メールにて配布します。)

なお、各項目の調査目的は「活動計画」を参照してください。

特に指定のない場合は、令和元年度の実績で入力してください。

① 市経理消耗品費配分額における印刷関連経費の割合

以下の項目についてR1年度分を入力してください。

学校配当消耗品費	プリンターインク・トナー使用料
レンタルプリンタ年間利用料	印刷機インク・マスター
コピー機使用(カウンター)料	用紙代
消耗品費配分額に対する割合	

② 保護者負担公費化のための要望(各教科実験材料費負担調査)

児童生徒数は幹旋教材にも入れてください。

作成例を参考に、回答シートへ入力してください。

小学校・・・	テスト(各教科)	ワーク・ドリル(各教科)	資料(社会)
	実験実習費(各教科)	学級活動用(学活)	幹旋教材 その他
中学校・・・	学力テスト	ワーク・副読本(各教科)	実験実習費(理科)
	他の教科(各教科実習費)		

③ スキー学習バス代保護者負担調査

スキー学習トータルのバス代	バス代の補助金総額
バス代の私費負担総額	バス代の一人あたり私費負担額

※スキー学習全体のバス代総額については、**過去3年分(H29～R1)**について回答してください。

※**今年度からリフト代について項目に加えましたので、よろしくお願いいたします。**

④ 中学校吹奏楽に関わる要望(楽器整備5カ年計画)

楽器購入5カ年計画(令和3年度~7年度) → 年度 楽器名 数量 金額 楽器現有金額

- ※ 別シート「楽器整備5カ年計画」の自校部分のみ修正し、送ってください。
樽川中の和太鼓についてもこちらに記載してください。

⑤ 学校図書館整備に係る消耗品などの必要経費

必要に応じて、担当の先生に確認してください。

学校図書館に係る消耗品の経費の合計とそれぞれの内訳(内容)

- ※ 蔵書の増加に伴い、書架が不足している場合は合わせて記載してください。

前年度に引き続き、中学校の巡回図書館司書について、回数増や常駐の希望があれば、回答してください。

⑥ 小学校英語教科化に伴う経費(小学校)

必要な消耗品・備品について、それぞれ品名・金額を学年ごとに記入してください。

上記以外(施設設備等)で必要なものがあれば記述してください。

- ※ 回答に際しては、具体的に「このような授業をするので、このような物品(備品)がほしい」という内容で記載してください。

教科の内容になりますので、必要に応じ、先生に確認してください。

⑦ 学習指導要領全面改訂に伴う教科書採択に関わる必要経費調査

調査内容

教科書採択に伴う消耗品費増額予算とは別に、全面改訂に伴う整備に必要な物品・備品を記述してください。デジタル教科書等が想定されます。

- ※ 回答に際しては、各教科に関わってくるので、先生への聞き取りもお願いします。

⑧ 石狩市児童生徒一人あたりの配分予算の推移、比較

※ 担当にて作成しますので、各学校から回答の必要はありません。

(3) 調査用紙について 別紙のとおり

(4) 各調査の担当者について

- ・印刷費関連経費調査(花川小 高嶋さん)
- ・各教科実験材料費保護者負担調査(南線小 小野さん(厚田学園 中川))
- ・スキー学習バス代調査(花川小 佐藤さん)
- ・中学校吹奏楽に関わる経費調査(浜益中 後藤さん)
- ・学校図書館必要経費調査(双葉小 沼田さん)
- ・外国語必要経費調査(花川小 佐藤さん)
- ・学習指導要領改訂必要経費調査(石狩中 村井さん)
- ・学校配分予算推移調査(石狩中 村井さん)

令和3年度 教育予算要望

『重点要望事項』

7. 学力テストや教材購入等、保護者の私費負担軽減のための予算措置

各小学校では、長期休業中に補助教材として夏冬休み帳などを作成し、「学力向上」「自ら学ぶ姿勢の醸成」を行っています。

しかし、学校で作成する場合に、著作権法の関係から教材（課題）の選定にとっても苦慮し、膨大な時間と負担を強いられているのが現状です。そのため、民間業者の教材を購入する以外に方法はなく、保護者の私費負担がとて大きくなっています。以上のことから、教材関係機関からの教材（課題）の提供や作成、もしくは購入についての公費負担に対する予算措置を要望いたします。

各中学校では、北海道教育文化協会で作成・販売する学力テストを保護者の私費負担で購入し、授業の中で実施しています。「学力向上」はもちろんのこと、「進路選択」のための指標として、各学校により回数は異なりますが必ず実施せざる得ない状況であり、保護者の私費負担も大きなものとなっています。「学力向上」や「進路選択」のうえでもとても重要な取り組みとなっていることから、最低1回分の公費化を要望いたします。

8. 「学校における働き方改革」推進のために

現在、市内ほとんどの学校で、校舎内のポリッシャーやワックスがけについては、長期休業等を利用して学校職員で行っているのが現状です。「働き方改革」に関する通知でも触れられていますが、これは教職員の業務ではないとされています。また、この業務のために本来すべき業務が滞っている現状があることから、ワックスがけのための予算の弾力的運用・活用（非常勤職員採用の予算増額も含む）をすすめる予算措置を要望します。

9. 学校における印刷環境を整備するための予算措置について（新規）

現在、学校教育を取り巻く環境はICT機器の活用が通常となるなど、以前とは大きく変化しています。

その中でも、カラー印刷については、児童生徒に学習への関心意欲を向上させ、理解の手助けになるなど学習において非常に効果を上げています。

また、保護者地域への学校だよりなどの情報発信にも使用されることで、学習運営上、地域との連携や学校への理解を深めていただくことにも大きく影響を与えています。

現状では前述のような効果を上げるため、各学校に配分された予算の中で月額制のカラープリンターを導入するなどの対策をとっています。しかし、このシステムの値上げにより、学校単体の予算では対応できず、今後使用できなくなる可能性が出てきています。

また、教職員の働き方改革の面からみると、「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策（答申）」の中でも、多機能の複合機等を整備することにより、業務の効率化や負担軽減への効果が期待できるとされています。

児童生徒の学習環境のため、学校運営のため、教職員の働き方改革を推進するためにも、印刷環

境については、学校単体ではなく石狩市の学校全体で、カラー印刷対応、帳合までできる複合機の整備を強く希望します。

当面の対応策として、以下の3点についてお願いいたします。

1. 学校に配分される管理需用費の増額
2. 令和3年度の教職員用PC更新時に職員室のレーザープリンタをランニングコストの安いカラー印刷対応に変更する。その後のFAX、コピー機、印刷機の更新については希望校のみ行うこととする。
3. 複合機等をリースした場合は、学校配分管理需用費の負担にならないよう、1枚あたりの単価は0.8円を上回らないようにする。

10. 校内放送機器の更新について（新規）

各校の校内放送機器については相当の年数を経過している学校がほとんどで、故障も増えてきており、デジタル化に対応できていない状況です。

石狩市は令和元年度より3年計画ですべての学級に電子黒板の導入を予定していることから、これらに対応した映像も可能な放送設備を要望します。今後、コロナウイルス対応のため三密を防ぐことから映像の使用が多くなることも十分考えられ、校内放送機器の更新は喫緊の課題とされますので、予算の措置をお願いしたい。